

※この事業は財榊山教育振興会の助成を受けて実施しています。

一回り大きくなって

平成19年度 大洲市中学生海外派遣事業実施



▲小学校玄関前

今年も7月27日から8月11日の16日間にわたり国際的な感覚の涵養と視野を広めることを目的に、市内の中学生12人と引率教師2人をオーストラリアに派遣しました。一回りも二回りも大きくなって帰ってきた生徒と引率教師の驚きと感動の声を報告します。

大洲市中学生海外派遣事業に参加して

団長（平野中学校長） 池田まさつぐ 正次

7月27日、盛夏。初めての海外旅行と団長として無事に子どもたちを引率しなければならぬという思いを乗せ、飛行機は成田を飛び立った。9時間後の早朝、ブリスベン空港着。ひんやりとした空気を感じたが、日差しが強く、冬場だというのに体感温度は高く感じられた。そして、難関とされた入国

手続きも無事終了。いよいよオーストラリアでの生活が始まる。参加した12人の生徒たちと引率教師、そして私に緊張の糸が走るのを感じた。このようにして始まったオーストラリアでの生活は、驚きと感動の連続だった。

今回の受け入れ校、ナッシュビル小学校は、生徒数340人、二つの自然公園に挟まれた静かな環境にある学校だった。受け入れの準備や計画がしっかりしており、滞在中、子どもたちを安心して任せることができた。学校は自由な雰囲気であるが、「聞くこと」に関しては厳しい指導がされていたように思う。12人の子どもたちは意欲的に授業に参加し、積極的に現地の子どもたちと交流を深め、日に日に自信に満ちた表情に変わっていった。子どもたちの優れた適応能力に感心すると同時にうらやましくもあった。

詳しい体験報告は、生徒の感想に委ねることにするが、「百聞は一見にしかず」という。日本の約20倍の国土を持ちながら、人口はわずか2000万人足らずというオーストラリア。国のスケールの大きさ、美しさ。生活する人々の温かさ、優しさを肌で感じることは有意義であった。また、そこから日本の良さやすばらしさを再確認することができたことは、私にとって大きな収穫となった。

あらためて、このようなすばらしい体験の機会を設けていただいた大洲市ならびに榊山教育振興会に心より感謝し、本事業が今後も継続されることを願いながら、参加報告とする。



▲授業風景

平成19年度大洲市中学生海外派遣日程

7月27日(金)	出発式、大洲市発 松山から成田を経由し、ブリスベンへ
7月28日(土)	ブリスベン着、ブリスベ市内研修 受け入れ校対面式、ホームステイ開始
7月29日(日)	大洲市中学生のための研修プログラム ・英会話クラス（午前×7日間） ・一般授業参加（午後×7日間） ・スポーツ ↓ ・文化交流
8月8日(水)	・生徒間交流 ・ホストファミリーとの交流 ・さよならパーティ
8月9日(木)	ホストファミリーとお別れ ゴールドコースト市内研修
8月10日(金)	ブリスベンから成田へ
8月11日(土)	羽田から松山へ 大洲市着、帰国報告会



▲お別れパーティー



▲ヨットハーバーにて



▲ナッシュビル小学校全景

大洲市中学生海外派遣事業

学んだこと

大洲南中学校 **坂井 菜摘**

今回の中学生派遣事業によって、私たち12人は大きく成長し、また、精神面でも飛躍的な成長を遂げることができました。

学んだことの中で一番大きかったことは語学です。私が滞在させていただいたホームステイ先の家族は、日本について何も知らなかったのので、私が英語で日本の文化を紹介したりしました。家族の方は、日本にかなり興味を持ち、「日本に行くときは、菜摘の家に行くよ」と、うれしそうに話していました。こうやって文化や言葉の違いがあるにもかかわらず、家族同様に大切にいただき、本当に感謝しています。また、ホームステイを通して、英語がさらに好きになりました。将来、英語関係の仕事に就職したい気持ちが、ますます高まりました。そして、いつかオーストラリアの第二の家族に、また会いに行きたいです。

2週間で私は大きく変化し、成長しました。今回の派遣事業に携わっていただいた多くの方々、本当にありがとうございました。



海外派遣事業を終えて

大洲南中学校 **古森 健太郎**

僕はまず現地に到着しての第一印象は広大な土地と緑豊かな街並みでした。早速、ホストファミリーと対面しました。とても優しく陽気な家族で内心ホッとしたのを覚えています。

研修では英語での授業を始め、独自の動物やアボリジニについて学びました。交流では、「おにぎり」や「折り紙」を作ったり、またオーストラリアのお菓子を作ったりし交流を深めました。現地の生徒はとても親しみやすく活発で、日本語でのあいさつもしてくれました。期間中、アウトドア派の家族と海や山へ繰り出し自然を満喫しました。海辺では“鳴き砂”も体験し、ショッピングでは地元の百貨店やお土産店で現地通貨での買い物も体験することができました。

今回、このような貴重な体験をさせていただき本当にうれしく思います。派遣事業を計画・支援していただいた皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。



海外派遣を終えて

大洲北中学校 **仲田 暖野**

期待に胸を膨らまし飛び立った日から早いもので1ヵ月以上たちました。しかし、オーストラリアでの十数日は、私にとって決して忘れることのできない思い出となりました。ホストファミリーと初めて会った日は、日本との違いがたくさんあり、少し違和感を感じました。でも、ホストファミリーの人たちがいろいろなことを優しく教えてくれて、すぐに慣れることが出来ました。学校では、お菓子、動物や花、観光スポットや地形など、オーストラリアの文化や自然について学びました。反対に私は日本の折り紙やおにぎりの作り方をオーストラリアの学校の生徒に教えました。今回の海外派遣では、オーストラリアの文化を学ぶだけでなく、日本の文化も伝えることができました。今回の交流は、お互いの国の文化の交流が出来て本当に良かったです。

今回の交流で学んだことは、とてもたくさんあって書ききれませんが、その多くを出来るだけ多くの人に伝えていきたいと思っています。



海外派遣を終えて

大洲北中学校 **尾形 誠**

約2週間という、少し長い海外派遣事業を無事終えることができました。

英語を使っでの生活は、とても大変で相手の話していることが聞き取れないことが多々あったり、分からない単語がたくさんでたりと、コミュニケーションをうまくとれなくて苦労しました。

ですが、いっしょにオーストラリアに来た友達や先生方、ホストファミリーのみなさんの協力により、充実した日々を過ごすことができました。

僕は、英語とともにオーストラリアの文化についても知ることができました。特に印象に残っているのは、カンガルーの肉を食べたことです。まさか食べられるとは思いませんでした。でも、とてもおいしかったです。

この体験は、生涯でもう体験することのできない、とてもいいものでした。本当にうれしかったです。関係者のみなさま、ありがとうございました。



様々なふれ合い、多くの出会い、忘れられない人々

肱東中学校 ^{うえ} ^の ^{よし} ^え
上野 仁 愛

草原をはねるカンガルー、ユーカリの上でのんびりするコアラ。これが私の持つオーストラリアのイメージでした。しかし、実際のオーストラリアは人なつっこくて陽気で、そして親切な人々の住む素敵なおとこだったのです。

私にとって幸運だったのは、ホームステイ先の家族の方々や学校の生徒たちがみんなフレンドリーなことでした。現地の人々と直接会話をし、理解し合うことで、英語の大切さを実感するとともに、たとえきちんと話せなくても心の底から笑い合えたり、楽しんだりできるということも体験できました。お土産の玩具と一緒に遊んだステイ先のベラ・アレックスの笑顔は今でも忘れられません。

今回の大洲市中学生海外派遣事業は、私にとってかけがえのないものとなりました。ホームステイによって、英語力



も精神面も大きく成長することができたと思います。今回の経験をもとに、国際的な視野を持った考え方をつくっていきたいです。

たくさんのことを学んだ、最高の夏！

平野中学校 ^{うえ} ^だ ^{みづ} ^き
上田 瑞 紀

私は、この海外派遣で、生活習慣や英会話などたくさんのことを学びました。また同時に、日本の文化をたくさん伝えることができました。

私のホストファミリーは8人の大家族でした。大人数で生活するのは初めてでどうなるかと思っただのですが、生活の中で、いろいろなことを教えてくれたり、たくさんの所に案内してくれたり、とてもにぎやかで楽しいホストファミリーと過ごすことが出来ました。

学校では、たくさんの友達ができ、楽しい学校生活を送りました。間食を入れると一日6食でした。驚きながらも毎日食べました。

この約2週間、書ききれないほどの思い出ができました。このような体験をさせてくださった家族、大洲市および現地の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。

私はオーストラリアでの体験活動を終えて、英語が一番好きな教科になりました。また、新しい友達が増え、最高の夏休みとなりました。



海外派遣で学んだこと

大洲東中学校 ^{ふく} ^{やま} ^{ゆう} ^た
福 山 優 太

僕は今回の海外派遣に参加するにあたり、自分の中で「何事も自分から」という目標を立てて頑張ってきました。ホストファミリーの方はとても優しく接して下さって、とても楽しくまた充実した海外派遣となりました。オーストラリアに着く前は、自分の英語が通じるかとても不安な気持ちでしたが、自分の思っていた以上に通じたときはとてもうれしかったです。分からない単語はスペルを聞いて確認するようにしたので、行く前よりたくさんの単語を使えるようになりました。学校では、バディーの子がオーストラリアの学校について教えてくれました。また、バディーの子だけでなくクラスの間みなともすぐ仲良くなり、本当に楽しい毎日でした。僕はオーストラリアの文化、生活に触れ、たくさんのことを学べて本当によかったです。今回オーストラリアで学んだことを将来に生かしたいです。企画をしてくださったみなさん、本当にありがとうございました。



大洲市海外派遣事業に参加して

新谷中学校 ^{よね} ^だ ^み ^ま
米 田 美 満

私は、海外派遣事業に参加してたくさんのことを学ばせてもらいました。

異国の文化にふれたり、向こうの学校の生徒たちとの交流、英語の学習など、たくさんの体験をさせてもらい本当に感謝しています。多少、文化の違いでとまどったり、不安になったりもしましたが、これも今ではいい思い出です。

これらの体験を通して、これからの家庭生活、学校生活等の面で、生かしていきたい点も見つけることができました。それらをどう生かしていくかしっかり考えていきたいです。

私たちがこのようなすばらしい海外派遣事業ができたのも、たくさんの方々のおかげです。とても感謝しています。本当にありがとうございました。

大洲市海外派遣事業で学んだことを、しっかり生かし、これからの生活に役立てていきたいです。この派遣事業に参加して、本当によかったです。ありがとうございました。



大洲市中学生海外派遣事業

海外派遣事業に参加して

長浜中学校 ^{まつ}松 ^だ田 ^ま真 ^き季

成田発ブリスベン行きの飛行機に乗り、あらためて海外研修の実感が湧き、責任の重さと不安な気持ちでいっぱいになりました。

現地は、雨も降らない乾燥地帯でした。食文化や学習の仕方の違いに驚きましたが、温かいホストファミリーや現地のクラスメイトたちのおかげで、日本と違う生活習慣さえも楽しく体験させていただきました。オーストラリア人は、とても優しく友好的で、私は片言の英語しか話せませんが、気持ちを込めて身振り手振りで会話をしました。おかげで、ヒアリングは少し得意になったかもしれません。

毎日の研修はとても新鮮で、感動することも多く、時間がたつのがとても早く感じられました。同時に異文化に触れることで、日本の良さもわかり、あらためて自分が日本人であるということを実感

することができました。



今回私たちにこのような貴重な体験をする機会を与えていただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。

青い空・青い海

長浜中学校 ^{かま}鎌 ^だ田 ^{みゆき}幸

青く澄んだ空と海、オーストラリアは私が想像していたとおりの場所でした。2週間という短い間でしたが、充実した研修でした。

当然のごとく、会話はすべて英語であり、初めの数日間は、ホストファミリーともうまくコミュニケーションを取ることができませんでした。しかし日が経つにつれて、共に生活をするのが楽しくなりました。

平日は現地の小学校へ通い、子どもたちと触れ合う機会も多く、オーストラリアの生き物、食べ物、文化、ゲーム等を教えてくれました。それがとても嬉しくて、毎日の登校が楽しみでした。ただ、毎日のシャワーが4分間限定というのには閉口しました。地球環境の異変によって、オーストラリア全体が水不足なのだそうです。

大変なこともあったけれど、振り返ると楽しかったことばかりが思い出されます。

この海外派遣で学んだことを今後の生活や学習に生かしたいです。また、海外派遣に協力して下さった方々に心から感謝します。



大きな収穫、大きく成長

河辺中学校 ^ゆ往 ^み見 ^り理 ^な奈

たくさんのことを学び大きく成長して帰ってくる、それが私の目標でした。

大きな期待と小さな不安を心に抱きながら日本を離れ、オーストラリアに足を踏み入れました。目に見えるのはきれいな景色と外国人、耳に聞こえるのはペラペラと話されている英語や外国語。早速、これからの生活が心配になりました。しかし、現地でお会ったホストファミリー、受け入れ校の先生や生徒、その他たくさんの方のおかげで何のトラブルもなく充実した毎日を過ごせました。英語が聞き取れない、話せないと悔しかったり悲しかったりしましたが、その分頑張ろうと思いました。

今回海外派遣事業に参加して英語はもちろん現地の文化や習慣、人の温かさなどたくさん



のことを学びました。目標も達成できたと思います。このような貴重で将来につながる経験をさせていただいたことに感謝し、これからの生活にいかしていきます。

海外派遣事業を終えて

肱川中学校 ^み三 ^せ瀬 ^{まな}愛 ^み美

私は、海外派遣事業に参加して、とてもいい経験をすることができました。私が海外派遣事業で一番楽しみにしていたことは、ホームステイでした。私のホストファミリーは、4人家族でした。私はその中のオリンダと特に仲良くなることができました。平日は、彼女と一緒に学校に行きました。学校では、カトリオーナ先生の英語の授業を受けました。オーストラリアの地図やお菓子、プーメランなどを作ったりして、とても楽しい授業でした。私が特に心に残っている授業は、私たちが先生となって、日本の文化である「折り紙」や「おにぎり」の作り方を教えてあげたことです。折り紙やおにぎりはとても好評でした。

私は、この海外派遣事業に参加して、今まで以上に英語を好きになることができました。これからは、この経験を生かして、ALTの先生ともさらに積極的に話していきたいと思えます。このような研修の場を与えていただき、本当にありがとうございました。





▲成田空港にて

海外派遣事業に参加して

平野中学校教諭 ^{いし}石 ^{かわ}川 ^{あつし}敦



7月27日、まだ午前中というのに、目がくらむような暑さの中で、出発のときを迎えました。生徒一人一人は大きなトランクとまだ見ぬ外国の生活への期待と不安を抱えて、集まってきます。大洲から松山へ、そして羽田、成田とどんどん生まれ育った地から離れていくのですが、生徒たちは不安な顔一つ見せず、ひたすらこの旅を楽しんでいるようでした。

翌朝には、オーストラリア、そして、午後には、それぞれのホストファミリーの元へと去って行きました。私も土日と2日

間はホストファミリーの元で過ごしましたが、ホームステイを幾度か経験しているらしく、私もすんなりと生活になじむことができました。今思い起こせば、成田、そして飛行機の中では、多くの中高生が海外でのホームステイへと集まっていました。これだけの多くの日本人が、学生時代にホームステイを経験するとは、本当に驚いてしまいました。



▲Bribie Islandにて

休みもあけ、生徒たちが続々と学校に集まってきます。また驚いたのが、ホストファミリーと本当の家族のように接していることです。学校での生活は、バディーを作ってもらい、お互いが手をつなぎ歩き、食事をし、そしてグラウンドや校庭を駆け回っていました。言葉はなかなか出てきませんが、言葉を超えたコミュニケーションをとっているようでした。

英語の授業に関しては、言語学習ばかりでなく、文化や歴史、地理などさまざまなものを学習し、その学習手段として英語が使われていました。おのずと生徒たちは、英語を理解し、そして使おうと心がけていたようです。この点において、単なる英語学習ではなく、国際理解という感性を豊かにすることができたのではないだろうかと思

います。今回の海外研修は、英語学習にとどまらず、国際人としての資質を養ういい機会であったと思います。また、一人一人が、その発信基地となることを期待します。



▲校庭にて現地の小学生と



▲オーストラリア動物園にて

秋季火災予防運動

2007年度 全国統一防火標語

火は見てる

あなたが離れる

その時を

住宅防火 いのちを守る

7つのポイント

1 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

2 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**などを設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

家庭防火のポイント



11月9日は
(119番の日)です。

風の強いときは、たき火をしない。